

瀋陽だより

2015年3月

報告者：東北育才学校 高井 奈央子

東北育才学校についてーその2 高等部ー



私の住んでいる寮は中等部の中にありますが、高等部はそこから通勤バスで約40分（地下鉄とバスを乗り継いで行くなら1時間強）のところにあります。郊外にあるため、生徒は基本的に寮生活です。とはいえ、週末ごとに実家に帰っているようです。自宅がすぐ近くの生徒は自宅から通っている場合もあり、学校のすぐそばにある大きなタワーマンションに住んでいるのだそうです。

高校と言うよりは、キャンパスと表現するのがふさわしい広大な敷地の中に高等部の建物があります。なんとこの敷地内にはスタジアムのようなグラウンドまであり、富山県の高校ばかり見てきた私からすると、とても同じ高校生の学び舎とは思えません。

私が今担当しているのは高校3年生、日本語クラス10人です。日本語能力試験1級（最高級）を取得済みであることはもちろん、4名はすでに日本留学を経験しています。日本語でコミュニケーションをとることにほとんど不自由を感じていません。

日本語だけではなく、英語も得意です。3ヶ国語に堪能となれば、世界中のどこに行っても生きてゆくことができるでしょう。自分の貧弱極まりない語学力と生活能力を思うと恥ずかしくなります。

彼らの能力を持ってすれば、世界中の大学に留学することが可能だと思うのですが、どうして日本の大学を目指しているのでしょうか？世界的に見れば、日本1位の大学よりももっとハイレベルな大学もあります。不思議だったので、生徒たちに聞いてみたところ、だいたい以下のような答えが返ってきました。



門には守衛さんがいて、出入りを管理しています。

- ★日本は水や空気などの環境がきれいだから。
- ★日本の技術水準が高いから。
- ★アニメやゲームが好きだから。
- ★欧米圏の人たちが中国人を差別していて、いやな思いをしたことがあるから。

★アメリカよりも近いから。

★家族の意向。

これらの答えから、日本はどうすれば世界中から優秀な人材を集めることができるのか、という命題の解答が見えてくるように思います。教育・技術・文化・環境といったソフト面がとても大事であり、ソフトが充実していれば、ハード面もおのずと整うでしょうから、長期的な視野でソフト面を育てていって欲しいものです。

東北育才学校には、日本語以外にもフランス語クラスがあったらしいのですが、高校3年生の段階で、フランス留学を希望する生徒がいなくなり、消滅したようです。それと比較すると、日本語クラスが健在であるということはとてもありがたいことです。世界中の若者から、「留学したい国：日本」と言ってもらえるように努力しなければならぬと感じました。

東北育才学校は、高校2年生の春に卒業検定試験（遼寧省統一）を受けます。留学をしていた4名の生徒は、今年、後輩たちと一緒にその試験を受けます。もし、合格できなかつたら、もう1年、高校3年生をやることになるのだそうです。卒業試験があるなんて中国の学生は大変です。今、4名は一生懸命勉強しています。少々疲労困憊気味ですが、きっと大丈夫でしょう。



↑ 高等部内部の様子。レトロな雰囲気洋風建築

中国ライフー^{ちゅうざん}中山公園ー



寮の真向かい、道路一本をはさんだ向こう側にあるのが中山公園です。朝は6時

30 分ごろから、夜は 10 時ごろまで常に人がいて、にぎやかです。日本の公園とはだいぶ趣が違うので、写真を中心に紹介したいと思います。



←

公園内には、大人向けトレーニング機器が何種類もあります。子ども向け遊具もあるのですが、公園を利用している人は、子供よりも大人、特に年配の人々が大半を占めています。

平日、祝日を問わず、いつもたくさんの人たちがこの公園で体を鍛えています。「大声を出すと健康にいい」と考えている人たちもいるようで、応援団の発声練習のような声が 1 日中聞こえます。

→

卓球はとても人気のあるスポーツです。本来は屋内競技ですが、楽しむだけなら、外でも構わないというスタンスのようです。この卓球台は 365 日ずっとだしっぱなしですが、瀋陽は雨が少ない（10 日に 1 度、小雨が半日程度）ので、問題ないのだろうと推測しています。

高等部の生徒たちも休み時間に屋外に卓球台を出して楽しんでいます。



←

もちろん太極拳をたしなむ人たちもいます。この日の気温は氷点下でしたが、瀋陽の人たちは氷点下だからと言って屋内にこもっていることはありません。公園で元気に活動します。

夏には、太極拳のユニフォーム（？）を着て太極拳をする人もいます。



→

こちらは、仲良しのグループで歌の練習をしておられます。グループで合唱の練習をしている人々もいますし、独唱してのどを鍛えている人もいます。

みなさんとてもいい声をしていらっしゃるようです。公園に集まって活動している人は皆幸せそうに見えるのですが、私の気のせいでしょうか。



←

社交ダンスもポピュラーな健康増進スポーツとなっているようです。ご夫婦で仲良く参加されているケースも多いです。

日本でダンスの練習をするとなると、場所の確保、賃料、防音など様々なことを考慮しなければなりません。しかし、中国では、公園さえあれば何とかできるようです。

→

公園内には所々小高い丘があります。

たいてい、その上にこのようなあずまや四阿が立っています。9月頃は、ここでいつも二胡の練習をしている人がいらっしたのですが、さすがに冬に練習するのは無理があるようです。もう少し暖かくなったらまたここで練習する姿が見られるようになるのかもしれませんが。

